



国際ロータリー第 2530 地区

二本松 2025-2026 ロータリークラブ

週報

2025.11.12

vol.13

第3039回例会

Good Meal
良い食事

Good Speech
良い卓話

Good Atmosphere
良い雰囲気



クラブ HP

■例会場 福島県二本松市本町 2 丁目 50 アーバンホテル二本松
■例会日 水曜日 12:30

会長 井上 航
会長エレクト 濱崎広志
副会長 安齋淳
幹事 高宮優子
週報編集者 渡辺聡 佐藤克也

事務所 二本松市本町 1 丁目 60-1 (二本松商工会議所内) TEL 0243-23-3211 FAX 0243-23-6677
WEB サイト <https://nihonmatsu-rotary-club.net/> E-mail info@n-rotaty.com

二本松ロータリークラブ
25-26 年度クラブスローガン

Let us cling together (手を取り合って)



月信

●国際ロータリークラブ会長
フランチェスコ・アレツツォ(イタリア)

●国際ロータリー第2530地区ガバナー
泉田 征慶(浪江ロータリークラブ)

●県北第一分区ガバナー補佐
相良 元章(福島RC)

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することである

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

4つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなの為になるかどうか



ロータリークラブ
手続き要覧



ロータリー章典とは?



マイロータリーとは?



マイロータリー
アカウント登録の手順

会長挨拶



井上 航 会長

みなさまこんにちは。本日は、11月初めての例会となります。11月はロータリー財団月間です。ご存じのとおり、ロータリー財団は1917年にアーチ・クラフ会長が、「世界でよいことをする」(Doing of The Rotary Foundation)のために設置した基金が基になっています。1928年にロータリー財団と名付けられています。そして、1931年11月12日に信託宣言をして信託組織となりました。これを記念して、11月がロータリー財団月間となっております。

余談ですが、信託宣言というのは聞きなれない言葉です。信託というのは財産を信じて託す行為です。第三者に財産を託す信託契約が一般的です。信託宣言というのは、自己信託とも言われるとおり、自分に自分の財産を託し、その財産から生じる果実の受益者を第三者にすることになります。信託宣言が用いられる理由は様々ですが、ロータリー財団に関しては、もともとロータリー財団の財産はロータリアンから「世界でよいことをする」ために寄附を受けた財産なので、それを他の財産から区別し、その果実が間違いなく「世界でよいことをする」ために使われるように縛りをかけるために信託宣言をしたものと思われる。

話しは戻って、それ以降、ロータリー財団は平和を育み、教育を支え、病をなくし、より良い世界をつくるために活動を続けています。ポリオ根絶活動はもちろんですが、各クラブの活動に対する補助金やグローバル補助金もロータリー財団から支出されています。将来のクラブの活動に対する手助けとなる側面もありますので、今月は特に財団寄附への関心をお願いします。

本日はクラブ協議会となっております。先月の地区大会において、会長代理のスピーチや、他クラブとの交流や活動報告から得たものも大きいと思います。また、来月の年次総会を経て、次年度体制が助走を開始することになると思いますので、次年度を見据えた各委員会のこれまでの活動と今後の活動、そして次年度に向けた課題の検討をしていただければと思います。

本日の理事会では、細則等の改正を審議します。細則の改正は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分2の賛成投票によって改正することとなり、例会の10日前に改正案を各会員に郵送しなければなりません。そうすると、次週の例会には間に合いませんので、細則の改正を諮る例会は12月3日となる予定です。細則等の改正案を郵送しますので、12月3日の例会までにご確認のうえ例会に臨んでいただければ幸いです。本日はよろしく申し上げます。

12月のプログラム

ロータリーレート
150円/ドル

- 第 3041 回例会
2025 年 12 月 3 日 12:30
- 第 3042 回例会
2025 年 12 月 10 日 12:30
- 第 3043 回夜間例会
2025 年 12 月 17 日 18:30
- 認定休会
2025 年 12 月 24 日
- 祝日週休会
2025 年 12 月 31 日
例会会場: アーバンホテル二本松

幹事報告



高宮 優子
幹事

11/19は夜間例会とガバナー補佐訪問、11/26は祝日週休会です。12/3は年次総会、12/10は委員会担当例会、12/17は夜間例会と家族忘年会、12/24は認定休会、12/31は祝日週休会です。地区行事として11/29に新入会セミナーがあり、12/6は国際競技会壮行会とRLI第8期パート3があります。以上です。

幹事のつぶやき: 旧暦では、和風月名と呼ばれる月の和風の呼び名を使用していました。(1月は睦月、2月は如月...) 全国的には旧暦の10月は「神無月」と呼ばれていますが、鳥根県出雲市周辺では「神在月」と呼ばれます。これは、全国の神々が出雲に集まるため 各地の神社から神様が不在になる月=「神無月」一方で、神々が集まる出雲では 神様がいらっしゃる月=「神在月」と呼ばれています。出雲大社では全国の神々をお迎えし、お見送りをする神事が続きます。2025年は11月29日に神迎神事が行われ 約一週間 全国の神々にお参りができますので是非、行ってみてください。

式次第

開会点鐘

ロータリーソング斉唱『奉仕の理想』
ソングリーダー 野地 哲也 会員

ロータリーの目的唱和 鈴木 浩之 会員

スマイリング報告

ニコニコBOX 佐藤 克也 会員

ロータリー財団・米山記念奨学会寄付報告 佐藤 健太 会員

出席報告 齋藤 康 会員

今日のプログラム

第3回クラブ協議会

閉会点鐘



野地 哲也
会員



鈴木 浩之
会員



佐藤 克也
会員



佐藤 健太
会員



齋藤 康
会員

第3039回（井上航会長年度第13回）例会は11月12日、アーバンホテル二本松で開かれました。

「奉仕の理想」を斉唱し、ロータリーの目的を唱和しました。井上会長があいさつし、ロータリー財団の歴史や意義を紹介しました。結婚・誕生祝いで、菅野京一会員の発声で乾杯し、結婚30周年の内藤哲太郎会員が謝辞を述べました。

引き続き第3回クラブ協議会を開きました。会員増強委員会の鈴木浩之委員長はJICAとの連携や大相撲巡業見学などの案を、クラブ管理運営委員会の前田智美委員長は家族例会などについて、公共イメージ委員会の内藤委員長は新聞記事などによる活動の発信成果をそれぞれ説明。青少年・職業奉仕委員会の佐藤健太委員長は3月のソフトボール大会、5月の職場訪問、6月のバレーボール教室と、あだち支援学校やパラスポーツとの連携などの案も説明しました。ロータリー財団・米山記念奨学会委員会と社会・国際奉仕委員会の計画については各委員長に代わって高宮優子幹事がスポーツを通じた青少年健全育成、カンボジアへの支援などの方針を説明。戦略計画委員会の渡辺忍委員長は二本松RCのビジョンや会員スピーチの重要性について述べました。



<ニコニコBOX>

- 井上 航会長「今年もインフルエンザ、カゼが流行しています。お気を付けてください。」
- 佐藤克也会員「明日は JICA 海外協力隊 60 周年です」
- 佐藤健太会員「結婚、誕生祝の皆様おめでとうございます」
- 内藤哲太郎会員「クラブ協議会よろしくお祈いします」
- 濱崎広志会員「第3回クラブ協議会よろしくおねがいします。」

- 前田智美会員「クラブ協議会は家族クリスマス忘年会について…」
- 遊佐金一会員「寒いのでカゼに注意」
- 渡辺 忍会員「明日から、北軽井沢に仕事で行って来ます」
- 齋藤 康 会員 ○鈴木浩之会員 ○高宮優子会員
- 野地哲也会員

<ロータリー-米山記念奨学会 特別寄付>

- 井上 航会長 ○前田智美会員 ○渡辺 忍会員

<ロータリー-財団寄付>

- 高宮優子会員

本日の投入 16 件

皆さまの善意に感謝申し上げます。
ありがとうございました。

ニコニコ
BOX

目標額 700,000 円
小計 17,000 円
累計 289,000 円

会員数

34 名

基礎数

会員数 - 免除会員数 (0 名)

34 名

当日出席数

13 名

出席率

出席数 / 基礎数

38%

メークアップ

0 名

修正率

(出席数 + メークアップ数) / 基礎数

38%